

はっ ぐつ せん だい はん 発掘された仙台藩 伊達家の上屋敷跡

かつて仙台藩伊達家の上屋敷があった場所は、隣接していた竜野藩脇坂家の上屋敷(北側)、会津藩松平家中屋敷(南側)の場所と合わせて、「汐留遺跡」として平成3(1991)年～13(2001)年の間、発掘調査が行われました。この遺跡からは建物や庭園の跡、当時の人びとが使っていた道具が発見されました。

- クイズのこたえ
- ② 1. 142家
江戸時代後期にもなると、全国にある大名家の半数以上が、今の港区域に屋敷を構えていました。
 - ② 1. 新橋停車場
江戸時代に仙台藩伊達家の上屋敷・竜野藩脇坂家の上屋敷・会津藩松平家中屋敷だった場所は、明治時代になって新橋停車場になりました。新橋停車場については『歴史館ファイル vol.3』を読んでみましょう。



発掘された仙台藩伊達家上屋敷の庭園跡(東京都教育委員会蔵)



仙台藩伊達家上屋敷跡から出土した江戸時代の陶磁器(東京都教育委員会蔵)

みなと く りつ きょう ど れき し かん い 港区立郷土歴史館へ行ってみよう!

今回紹介した仙台藩伊達家の上屋敷の資料は、港区立郷土歴史館に展示されています。仙台藩の伊達家といえば、「独眼竜」とも呼ばれた初代藩主の伊達政宗が有名ですが、伊達家以外にも、全国的に有名な大名家が江戸時代の港区域に屋敷を持っていた。どのような大名が屋敷を構えていたか、郷土歴史館で調べてみましょう。



みなと く りつ きょう ど れき し かん り よう 港区立郷土歴史館 利用のご案内

開館時間 午前9時～午後5時(土曜日のみ午後8時まで) ※入館受付は閉館の30分前まで。
休館日 毎月第3木曜日/年末年始(12月29日～1月3日)/特別整理期間
常設展観覧料 大人 300円 小・中・高校生 100円 ※特別展・企画展は別料金です。
※区内在住・在学の小・中・高校生、区内在住の65歳以上の方、区内在住の障害者とその介助者(1名)の観覧料は無料となります(証明ができるものをご持参ください)。



アクセス 東京メトロ南北線・都営三田線「白金台」駅下車 2番出口 徒歩1分
都営バス・東急バス「白金台駅前」停留所下車 徒歩1分
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

歴史館ファイル 第4号 令和5(2023)年1月20日発行 発行：港区立郷土歴史館
〒108-0071 東京都港区白金台4-6-2 ゆかしの杜内
電話：03-6450-2107 FAX：03-6450-2137

港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。この印刷物は、古紙を利用した再生紙を使用しています。

●公式SNS ●歴史館の最新情報はホームページにてご確認ください。
minato-rekishu.com



れき し かん 歴史館ファイル

vol. 4 え ど ぶ け や し き
江戸の武家屋敷
だい みょう や し き
大名の屋敷を見てみよう!

MINATO CITY LOCAL HISTORY MUSEUM



うき よ え えが だいみょう や し き おもてもん せん だい はん だ て け かみ や し き
浮世絵に描かれた大名の屋敷の表門(仙台藩伊達家の上屋敷)
こま と しゅうけい しほしん せん ざ の す うたがわひろしげ しょう だい てん ぼう
(江都勝景 芝新銭坐之図 歌川広重(初代)天保6～8(1835～37)年頃)



おわり や ばん え ど きりえ ず そう ぼ かい せい しほぐちみなみにしく ぼ あたご した の ず あん せい
尾張屋板江戸切絵図「増補改正 芝口南西久保愛宕下之図」安政4(1857)年

すごく大きな門だなあ!

左の切絵図の中に仙台藩伊達家(松平陸奥守)の上屋敷があります。どこにあるかページをめくって確認してみましょう。



大名の屋敷って、江戸時代のものだね? どんな建物だったのかな?

江戸時代の地図で見る 武士の屋敷

江戸時代は、将軍や大名などといった、
武士が政治の中心にいた時代じゃ。
徳川家康が、慶長8(1603)年に征夷大将軍に
なって江戸(今の東京都)に幕府を開いてから、
慶応3(1867)年まで約260年間続いたよ。
大名は将軍のいる江戸と国元(自分の領地)を
1年おきに滞在したよ。
これを参勤交代といい、全国の武士が
江戸に集まってきていたのじゃ。

土地が色分けされて
いて、だれがどの土
地を持っているのか
分かるようになってい
ます。色の無い所が、
将軍のいた城や大名
など、武士の屋敷が
建っていた場所です。
江戸のまちの中心
部には、武士の屋敷
が数多くあったこと
が分かります。
※地図中の他の色は、
赤は寺や神社、グレー
は町人(職人や商人)
の土地です。また、
オレンジは空き地や道
など、青は川や海など
でした。

江戸時代の港区域の 土地の分布

右の図は、江戸時代
の港区域を見たもの
です。武家地(武士
の屋敷など)が多い
ことが分かります。

- 白 武家地(武士の屋敷など)
- 赤茶 寺社地(寺や神社の土地)
- 黒 町人地(職人や商人の土地)
- 緑 農村部など

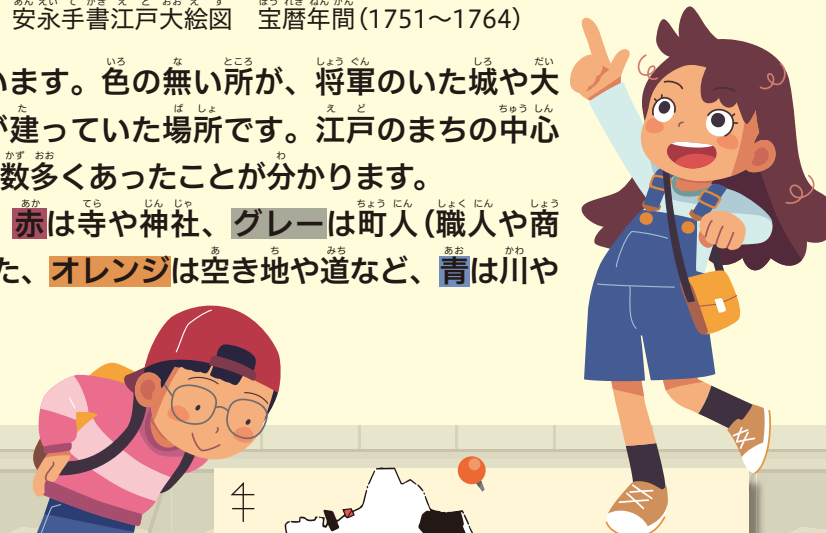
クイズにチャレンジ ①

江戸時代後期、全国におよそ270家の大名家がありました。
そのうち、港区域にはいくつの大名家の屋敷があったでしょう？
(文久2(1862)年の頃)

1. 100家 2. 142家 3. 175家 こたえは4ページを見てね



安永手書江戸大絵図 宝暦年間(1751~1764)



大名の屋敷を 見てみよう!

大名の屋敷の使い方と呼び方

江戸幕府は大名に対して、江戸に複数の屋敷地を与えていました。屋敷は使い方によって、大きく分けて3つに分類できます。

- 上屋敷**：一般的に大名(藩主)やその家族の住居として利用されました。また、江戸にいる家来たちが住む長屋もありました。
- 中屋敷**：一般的に隠居(引退)した大名や、大名のあとつぎなどの住居として利用されました。
- 下屋敷**：一般的に食料などをしまう蔵や避難所、別荘として利用されました。

ひとり複数の屋敷を
持っているなんて、
大名はすごい
なあ!



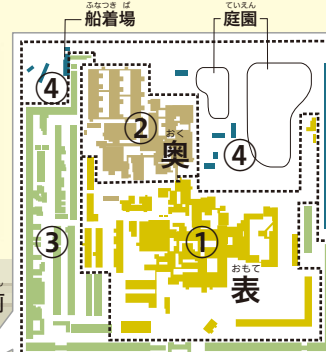
赤く囲った所が仙台藩伊達家の上屋敷(1ページ目の切絵図を拡大)

数多くある武
士の屋敷のな
かで、ここでは仙台藩の伊達家を例
に見ていきます。
伊達家は、現在の宮城県仙台市を中
心におよそ62万石の領地を江戸幕府
から与えられた大名で、今の港区東
新橋一丁目に広大な上屋敷を持って
いました。

空間別に
使い方があ
るのね!

図面で見 る仙台藩 伊達家の上屋敷

江戸芝口上屋敷絵図 寛保3(1743)年以前
仙台市博物館蔵



- ①黄「表」と呼ばれる空間。大名(藩主)や家来たちが仕事をする空間でした。
- ②薄茶「奥」と呼ばれる空間。大名(藩主)とその家族のプライベート空間でした。また、大名(藩主)の妻に仕える女性たちの居住空間もありました。
- ③薄緑「表」と「奥」を囲むように設置されているこの空間には、家来たちの居住する長屋や馬を管理する厩などがありました。
- ④青 屋敷図左上は船着場。海に面していたので船からも物資を運び入れました。この他に青く塗られた四角形は蔵を示しています。また、屋敷図右上には庭園が描かれています。

クイズにチャレンジ ②

仙台藩伊達家の上屋敷は明治時代に他の施設に
建て替えられたよ。それは何でしょう？

1. 新橋停車場 2. 国会議事堂 3. 東京大学

こたえは4ページを見てね

